

2005年2月16日

報道関係各位

三菱商事株式会社

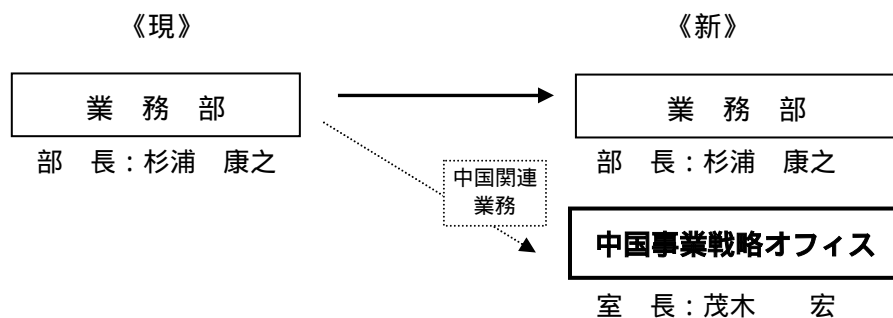
「中国担当役員」及び「中国事業戦略オフィス」新設の件
～ 4月1日付 組織変更 ～

三菱商事は、中期経営計画“INNOVATION 2007”で目指す「中長期的な成長」に向けた地域戦略の推進施策の一つとして、成長市場である中国への取組みを全社的に強化するため、4月1日付で「中国担当役員」を新設し、石橋副社長がその任にあたることと致しました。中国担当役員は、全社の中国戦略の立案・推進、並びに営業グループの個別戦略の立案・遂行への支援・協力を担当します。

また、その管下組織として、「中国事業戦略オフィス」を、同じく4月1日付で新設します。現在、業務部内で中国関連業務を担当している「中国チーム」の人員は8名ですが、新設する中国事業戦略オフィスでは、スタッフ数を倍増し、一層の機能強化を図る予定です。

三菱商事は、市場のポテンシャルと自社の取組みの状況を勘案して、「中国」を2005年度の「全社支援対象地域」の一つに選定し、投資の促進策や人件費の支援を実施することを決定しています。

具体的には、投資促進策として、投資性資産の全社枠を別枠として設定、また、人件費支援として、新規開発案件取組みのための駐在費用や長期出張費用の全社負担を行い、中国との取組みの強化を目指します。



以上